

GLOBAL APPEAL 2020

Performers' Profile

木下 航志／ Koshi Kishita



和製スティービー・ワンダーこと木下航志は、1989年鹿児島県生まれ。未熟児網膜症の為、生後一か月で失明。2歳からピアノをスタート。

10歳の時NHKのドキュメンタリーTV番組にて紹介される。14歳で再びNHK「木下航志14歳の旅立ち」で紹介される。2005年愛・地球博EXPOのジャパンウィークに参加。2006年デビューアルバム「絆」をリリース。2009年国連本部にてパフォーマンスを行う。2017/18年パラフェス、パラ駅伝でパフォーマンスを行う。

現在まで3枚のミニアルバム、2枚のフルアルバム、3枚のシングルをリリースしている。

GLOBAL APPEAL 2020

Performers' Profile

伊藤 真波 / Manami Ito



看護学生だった20歳の時バイク事故に遭い右腕を切断する。引きこもりの人生を覚悟したが、幼少期からの夢だった看護師の夢を諦めきれず立ち上がる決意をし、看護師の道をもう一度歩み始める。

看護師と働く傍らリハビリとして泳いでいた水泳を本格的に取り組み2008年北京・2012年ロンドンパラリンピック競泳日本代表となる。

また幼少期の習い事であったバイオリンを再開する。10年程前に多くの人達の力を借りバイオリン専用の義手製作に取り組む。

試行錯誤し未だ完成していないが、多くの人達の愛が込められている義手を使ってのバイオリン演奏を披露する。

GLOBAL APPEAL 2020

Performers' Profile

橋本 一郎（イチロー）／
Ichiro Hashimoto



日本における手話パフォーマンスの第一人者。
亜細亜大学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科客員
准教授および障がい学生修学支援室コーディネーター。
厚生労働大臣認定手話通訳士。
聴覚障害児・者自己啓発グループ「ひよこっち」代表。
NPO法人聴導犬育成の会監事。

関東地区のろう学校教職員に対しての指導助言を行う傍ら、さまざまなイベントで手話パフォーマーとして、エンターテイメントとろう者をつなぐ活動を展開している。

- 2017年 11月 日本財団パラリンピックサポートセンター主催
「ParaFes 2017」 手話パフォーマー出演
- 2018年 6月 日本財団ボランティアサポートセンター
コンセプトムービー「#2年後の夏」出演
- 2018年 11月 「ParaFes 2018」 手話パフォーマー出演
- 2019年 11月 「ParaFes 2019」 手話パフォーマー出演